

4 「叱る」と「ほめる」



親子お楽しみ会がありました。簡単手作りお昼ご飯の後、デザートとお菓子が出ました。我が子は、ご飯はほとんど食べなかったのに、デザートになると急に元気になり、真ん中にあった大皿をとって、部屋のすみへ行き、独り占め。デザートをぱくぱく食べ始めました。デザートを食いたい子が、その周りに集まり、ワイワイガヤガヤやり始めました。



我が子はだれにもデザートをあげず、独り占め。たまりかねて、「ダメでしょ。これは、みんなのものよ。早く、わたしなさい。」

ワア〜。ワア〜。

叱ったらワッと泣き出しパニック状態になってしまいました。

叱る派

やっぱりみんなのものはみんなのものだし、そのルールは絶対守らせなきゃだめ。きつく叱ってでも止めさせるべきよ。それに、その場で叱らなきゃ、意味がないと思うわ。

叱らない派

ご飯もほとんど食べていないから、お腹が空いていたんじゃないの。少し食べさせてあげたらどうか。それに、みんな楽しそうにお楽しみ会をやっているんだから、声をはりあげて叱る必要もないと思うわ。

後で叱る派

確かにいけないんだけど、パニック状態の時に叱り続けても逆効果だと思うわ。その場の雰囲気もあるので、二人きりになった時に言い聞かせるわ。

あなたは、お子さんが左記のような反応をした時、どのように対応されますか。どれに近いですか。

.....

.....

.....

.....

◆ 参考となる叱り方・ほめ方のポイント ◆

トラブルは「子育て」のキーポイントです。子どもが自分の思いを通すために理屈を言う、駄々をこねる。こんな時、間違っていることは間違っていると、毅然とした態度がなければ、子どもは生活や人生で判断する基準を見失ってしまいます。子どもの気持ちを尊重することと、親が不合理なことへの判断を示すことは別のはずです。子どもが何かを起こしたとき、大人のとり纏いで事を荒立てずにやり過ごしてしまうのか、それとも、泣いたりわめいたりしながらも、そこで何かを学び取るチャンス子どもに与えられるのか、この両者の違いは、子どもが人との関わり方のベースをつくる上で、大きな影響を持つことになるでしょう。

POINT